

防災 対策

今、求められる 相模原の防災力



市議会議員 おおつき和弘の取り組み

3月11日に発生した「東北関東大震災」は、震度7の激震と津波により甚大な被害が発生しました。被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。想定外の発災は地震予知の限界を痛感し、災害への危機対応力の充実の必要性を再認識させられました。行政の対応力、市民が自ら命を守るという危機意識の一層の啓発が重要です。私は今後も地域に合った防災対策の充実を推進します。



倒壊家屋が続く柏崎市内

【相模原に合った 防災対策の充実】

地震災害による被害は、地域によって様々です。今回の東北関東大震災は巨大津波、阪神淡路大震災は都市型、中越地震などは山間部に被害が発生しました。私は、平成19年7月に発生した中越沖地震の現地調査を行い、被災の状況、避難所の運営、救援物資や支援の状況、災害ボランティアの状況などを調査。同年12月議会より本会議で本市の防災対策について提案し、市長の見解を買ってきました。



柏崎市内被害の大きな「えんま通り」 柏崎市災害ボランティアセンター

自分達のまちは、 自分達で守る。



おおつき和弘の訓練概要説明

命を守る防災訓練

◎双葉小学校避難所指定8自治会 合同自主防災訓練の取り組み

阪神淡路大震災の教訓から、おおつき和弘が、11年前から手掛けてきた双葉小学校避難所指定8自治会の合同自主防災訓練。毎年700名～800名の参加で12項目以上の実践型の訓練が実施継続されている。

自分の命は自分で守るという防災意識の向上に繋げる内容の検討を続け、学校・行政・ボランティアとの綿密な連携で、先進的な取り組みが評価されている。災害時の避難所の開設や運営をスムーズに行うための避難所運営協議会の設置や具体的な訓練の継続は、神奈川県モデルケースにも取り上げられ、本市の自主防災活動の見本となっている。



救出訓練の様子

災害対策は、一人ひとりの意識改革から！

その時、困らないために、今、何をすべきか！

討議資料

おおつき和弘 市議会での取り組み



市の防災対策を質す。

相模原市議会本会議や委員会における質問で、防災対策についての提案や課題の追及を行ってきました。以下に実績と質問項目を掲載いたします。

実現 「避難所を混乱させない！」

◆市内小中学校に避難所運営組織の事前設置と訓練の実施
(平成20年開始進行中)

実現 「地震対策のキモは耐震化」

◆住宅耐震化補助制度拡充と補助対象拡大
(平成21年9月制度化)

実現 「縦割り組織は機能しない」

◆危機管理の一元化。危機管理室設置と危機管理監の配置
(平成22年4月設置)

実現 「防災条例」 ◆防災活動の憲法「防災条例」の制定に向けた取り組み (平成23年開始進行中)

おおつき和弘防災対策の質問項目

- 危機管理組織の一元化
- 危機管理監の配置と危機管理室の設置
- 耐震改修促進計画の実効性
- 戸建住宅と共同住宅の耐震化の促進策
- 小中学校の耐震化の状況
- 市有公共建築物の耐震化の状況と改修計画
- 市営住宅の耐震化
- 病院、社会福祉施設など「特定建築物」の耐震促進策
- 倒壊による通行障害の原因となる建物の耐震促進策
- 津久井地域の国・県道や橋梁の耐震化状況と孤立化対策
- 避難所運営体制の事前組織化への取り組み
- 自主防災組織の現況と活性化
- 住宅耐震化に向けた助成制度の充実
- 昭和56年の建築基準法改正以降の増築部分の補助対象
- 耐震診断および耐震改修工事への補助支援幅の拡充
- 高齢者や障害者への耐震改修補助金の加算
- 公共下水道の防災対策
- ブロック塀の防災対策
- 新地域防災計画策定への市長の決意
- 公助の役割と市民との役割分担
- 減災への取り組みと対策の数値化
- 消防力の強化
- 自治体間の災害支援協力体制
- 自衛隊・在日米軍との災害時協力体制
- 防災専任職員としての防災アドバイザーの設置
- 防災専門員の充実や女性の参画と防災士制度の活用
- 小中学校児童への防災教育
- 都市防災基本計画の策定
- 耐震改修促進計画の策定
- 災害時同報無線(ひばり放送)の難聴地域対策と緊急地震速報
- 避難所の運営準備体制
- 応急仮設住宅および建設用地の対応
- 要援護者支援対策
- 災害時要援護者情報の一元化に向けた取り組み
- 福祉避難所準備体制の充実

発行 2008年(平成20年)6月30日 掲載誌 相模原市議会

議会の設置に向け、協議所ごとに開かれました。記者 相模原市議士会より提供された写真です。



円滑な避難所運営へ 協議会設置向け合同会議

相模原

避難所運営の円滑化を図るため、市内の小中学校の避難所運営組織の事前設置と訓練の実施に向け、協議所ごとに開かれました。記者 相模原市議士会より提供された写真です。

協議会では、1999年(平成11年)に、市内の小中学校の避難所運営組織の事前設置と訓練の実施に向け、協議所ごとに開かれました。記者 相模原市議士会より提供された写真です。

大規模災害に備え

私の質問を契機に災害時に避難所が速やかに開設運営ができるように、市内の小中学校避難所での運営協議会の事前組織化が始まりました。

おおつき和弘プロフィール

- * 1955年(昭和30年) 山形県酒田市生まれ
- * 相模台中学校(2期生) * 県立大和高校(9期生)
- * 多摩美術大学 美術学部 デザイン科卒
- * 自治会法人 御園五丁目自治会長(8年) * 地区自治連副会長
- * 防災専門員 * 御園児童館・双葉小児童クラブ運営委員長
- * 平成19年 相模原市議会議員選挙に初当選
- * 平成21年 相模原市議会 創史会 結成、会長就任。
- * 市議会 民生委員会・建設委員会 副委員長
- 総務委員会、基地対策・産業集積特別委員会委員
- * 全国災害ボランティア議員連盟会員
- * 相模原災害ボランティアネットワーク運営委員